

事業名称	縄文時代の植物と編み物再発見事業		
実行委員会	国史跡不動堂遺跡再発見事業実行委員会		
中核館	朝日町埋蔵文化財保存活用施設まいぶんKAN		
	住所	〒939-0723 富山県下新川郡朝日町不動堂214	
	TEL	0765-83-0118	FAX 同左
	ホームページ	<a href="https://www.town.asahi.toyama.jp/soshiki/maibunkan/1536212832856.html">https://www.town.asahi.toyama.jp/soshiki/maibunkan/1536212832856.html</a>	
構成団体	朝日町、大家庄自治振興会、朝日町徹底解剖グループ		
事業開始時点の課題分析	<p>朝日町埋蔵文化財保存活用施設まいぶんKANが立地する富山県東部は、埋蔵文化財が豊富に出土し、地域の優れた財産となっている。また、祭りや伝統工芸、伝統食などの郷土の文化活動が今なお豊かな土地である。しかし、近年、地域住民の文化財への理解と関心が薄れつつある。これは文化財のみならず、博物館への関心も同様であり、開館当時に比べるとまいぶんKANへの来館も減少している。この理由としては、発掘が盛んだった当時は遺跡を目にする機会も多く、文化財への強い関心や教育の現場での普及の機会も多かったが、発掘から数十年を経て、それらの機会が減少していることや、まいぶんKANの情報発信力が低下していることが考えられる。今、地方創生は国の重要な政策である。地域住民が郷土への愛着をもち、地域を盛りたてていくためには、文化の力が欠かせない。郷土への愛着を育くむためにも、地域社会に文化力を涵養する場が必要であり、そのためには、単なるイベント的な取り組みではなく、本質的な取り組みで、なおかつ親しみやすく、朝日町埋蔵文化財保存活用施設まいぶんKANが人々の拠点となる必要がある。</p>		
事業目的	<p>考古学的・科学的な根拠のもと、地域住民が文化財と親しみやすく、身近に感じる取り組みを行う。富山県は工芸がさかんな土地柄であり、カゴ細工や彫刻、木地師、和紙の文化等、植物を利用したものも多い。国史跡不動堂遺跡では、「平成28年度 文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」の中で、土器の圧痕から植物の痕跡を探すワークショップを行っているが、その際に、土器の底部から敷物の圧痕が見つかった。当時の敷物やカゴは植物を利用しており、圧痕の様子からは当時の人々が現代のわれわれに通じる編み物の技術を持っていたことは自明である。地域住民とともに、植物や編み物を通じて縄文時代の手仕事や工芸を探ることで、縄文時代への理解を深める。</p>		
事業概要	<p>国史跡不動堂遺跡の土器の敷物圧痕から、縄文時代の編み物を探る。そのために、土器の圧痕調査を行って敷物の痕跡を見つける。見つけた敷物の痕跡について編み物の技法、素材等を調査・検討し、地元の植物素材を使って復原を試みる。その過程でワークショップを行い、住民に参加してもらう。</p>		

<p>実施項目 ・ 実施体系</p>	<p>(1) 地域文化の発信の核となる美術館・歴史博物館</p> <p><input type="checkbox"/>ア 美術館・歴史博物館の情報発信、相互連携</p> <p><input type="checkbox"/>イ ユニークベニユ어의促進</p> <p><input type="checkbox"/>ウ 地域のグローバル化拠点としての美術館・歴史博物館</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>エ 地域に存する文化財を活用した地域共働の創造活動や地域の魅力の発掘・発信</p> <p>(2) あらゆる者が参加できるプログラム及び学校教育や地域の文化施設等との連携によるアウトリーチ活動</p> <p><input type="checkbox"/>ア 小・中・高等学校と連携した地域文化の担い手の育成</p> <p><input type="checkbox"/>イ 大学等と連携した国内外で活躍する文化人材育成プログラムの開発</p> <p><input type="checkbox"/>ウ 社会人ほか多様な対象者のための学習講座の実施</p> <p><input type="checkbox"/>エ 障がい者の芸術活動支援・鑑賞活動支援等の事業</p> <p>(3) 新たな機能を創造する美術館・歴史博物館</p> <p><input type="checkbox"/>ア 観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等他分野との連携・融合による活動</p> <p><input type="checkbox"/>イ 文化財の新たな保存管理・活用の手法の開発</p>
<p>施後の 成果・効果等</p>	<p>本事業では、国史跡不動堂遺跡出土品を活用し、地域共働で縄文時代の暮らしぶりを探るワークショップを行った。このワークショップは実験考古学的手法で行い、地域住民に加えて県内・県外の老若男女に参加してもらうことが出来た。本事業では、ワークショップに先立ち、縄文時代の植物や編み物技法をレプリカ法、SEM、3D計測、ホワイトニング処理による顕微鏡撮影などの分析手法によって事前に予備調査し、当時使われた可能性の高い素材、技法を絞り込んだ。その結果を活かし、「地元の植物・編み物技法」を用いて地域共働のワークショップで実験考古学的に復原をした。参加者は、当時のリアルな苦労や技術の高さなどを実際に体感したり、研究者と交流しながら復原を行うという、まいぶんKANらしい事業を行うことが出来た。</p> <p>ワークショップを2日間かけてじっくり行うことで、延べ64名の参加者を得た。参加者のアンケートからは、地元の遺跡の調査成果を地元博物館が活かす取り組みを継続して行う意義を理解し、楽しんでいただけたことがうかがえた。その後、このワークショップの参加者によってSNSなどでの情報発信と交流が増え、事業の効果が地元以外にも波及している。</p>

### 【事業実績】



＜縄文時代の編み物体験教室開催＞

平成30年8月4日（土）参加者7名

地元の植物を使ってワークショップを行う前に、縄文時代の編み物技法の体験と「縄文時代の編み物」の存在の周知のため、中核館主催で「縄文時代の編み物体験教室」を開催した。体験教室は展示室内で行い、来館者が自由に見学、参加できるようにしたため、飛び入りの参加者や質問が出て交流が生まれた。

<おおむかしのあさひまち－縄文時代の植物と編物－報告会・復元体験会>

平成31年3月23日(土)・24日(日) 開催

不動堂遺跡の土器の敷物圧痕からわかった縄文時代の編み物のことを知ってもらい、カラムシという植物の繊維を使ってもじり編みで当時の編み物の復元体験を行う。この復元体験で出来た編み物の上で縄文土器を製作し、土器に編み物の痕が残った仕組みを体験する。これら一連の体験から、当時の編み物技術の復元体験に加え、当時の人々の暮らしのどの部分がいま、われわれの目の前にあるのかに思いをはせることができる。縄文土器から当時の暮らしを探る実験考古学的ワークショップは、2日間で延べ64名が参加した。

【参加者内訳】

報告会(人)		
朝日町内	8	
富山県内	入善町	1
	黒部市	2
	魚津市	1
	立山町	1
	富山市	5
	砺波市	1
	高岡市	2
	南砺市	1
東京都	3	
千葉県	1	
福島県	3	
参加者合計	29	

編み物復元体験会(人)		
朝日町内	4	
富山県内	入善町	1
	黒部市	1
	魚津市	1
	立山町	3
	富山市	3
	砺波市	1
	高岡市	2
	南砺市	1
東京都	4	
千葉県	1	
福島県	3	
参加者合計	23	

土器製作体験会(人)		
朝日町内	1	
富山県内	入善町	1
	黒部市	1
	魚津市	0
	立山町	0
	富山市	1
	砺波市	0
	高岡市	5
	南砺市	0
東京都	2	
千葉県	1	
参加者合計	12	

【参加者の感想】

アンケート集計(回収19枚)

■この企画は

1 良い	19
2 普通	0
3 あまりよくない	0

■今後もこのようなイベントに参加したいか

はい	17
いいえ	0
無回答	2

■年代

10代	2
20代	1
30～50代	11
60代	1
70代以上	4

自由感想欄 (一部抜粋)

・縄文時代の生活様式を知る上で、貴重な情報を得たような気がします。土器以外の生活道具について、知る機会がこれまで余りなかった。(地元70代男性)

・まいぶんKANで土器を見ても、こんなに深い研究、取り組みがあるとは考えても思いつかないこと。びっくりと感激です。ありがとうございました。(地元70代女性)

・じょう文時代のものがこんなにいっぱいきれいにのこっていて、すごいなと思いました。自分でたいけんすることによって、昔の人がどんなことをしていたのかがしれました。(高岡市・10代女子)

・富山では小さな町だが、遺跡を真剣にやっているのは一番だろう。これからも続けてほしい。(富山市・40代男性)

・とても楽しかったです。勉強になりました。また参加したいです。(立山町・30代女性)

・とても興味があり、とても魅力的なお話しでした。ありがとうございました。またこのようなきかひがあれば参加したいと思えます。(富山市・30代女性)

【報告会の写真】 平成31年3月23日(土)



【編み物体験の写真】 平成31年3月23日(土)





【土器編み物圧痕製作の写真】平成31年3月24日(日)



